



大阪プロバスクラブ

会報 第369号

2022年5月9日発行

Monthly Bulletin of
The Probus Club of Osaka

例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111
 例会日：(原則) 毎月第2月曜日 12時より14時まで
 ○創立 2001(平成13)年7月9日創立記念式7月16日
 ○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
 ○友好クラブ：箕面ロータリークラブ
 ○会長：有竹正巳 ○幹事：西宮富夫 ○事務局：(幹事宅)
 〒563-0022 池田市旭丘2-6-25 Tel：090-7496-5096
 ○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com
 ○会報ホームページ：<http://osakaprob.exblog.jp/>
 ○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>
 ○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版
<http://probuscent.exblog.jp/>

令4年3月中旬から4月中旬まで1か月間の更新分(順不同)

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報 第201号	「コロナの先の希望に向かって」安住 太伸、他
神戸北	4月例会、 のご案内	卓話「備前焼巡り」森田守彦会員、「ひ とこと」山田博補会員、他
東京八 王子	プロバス だより 第316号	「ことわざ養生訓」久野久夫、「古い映 画を観て若い頃を懐かしむ昨今」橋本 鋼二、他
北九州	つながり 第189号	コロナより怖いもの：植田佐世子会長、 食にまつわるトリビア：古賀靖子、他
赤穂	会報 第43号	赤穂で活躍した思想の巨人山鹿素行に ついて：石平氏講演会、他

今回 第370回 通常例会 2022年5月9日(月)
 会場：ホテルモントレ大阪 12:00~14:00

- 大阪プロバスの歌(作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎)
- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
- ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
- ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い 明日も愉快に生き抜こう

●富士山(ふじのやま)(作詞：巖谷小波 作曲：不詳)

- ①あたまを雲の上に出し、
四方(しほう)の山を見おろして、
かみなりさまを下にきく、
ふじは日本一の山。
- ②青ぞら高くそびえたち、
からだに雪のきものきて、
かすみのすそをとおくひく、
ふじは日本一の山。

前回 第369回 観桜会 2022年4月11日(月)
 会場：ホテルモントレ大阪 12:00~14:00

◎第369回 観桜会

- 司会進行：野村尚子会員
- ソング：吉川栄子会員 ●春の小川
- 乾杯：伊丹谷五郎会員
- 有竹正巳会長挨拶
- 幹事報告：摂津RC現役の宮田会員が家庭の事情や骨折
等で卓話中止となり大阪プロバス紹介は保留です。
- 誕生月会員：(写真省略)2月伊丹谷五郎会員、3月
西宮富夫会員、同吉川栄子会員、4月吉田州伸会員
- 出席報告：出席委員長より、17名出席との報告あり。



大阪プロバスクラブ観桜会(ホテルモントレ大阪)
 (2022年4月11日)

◎観桜会（司会進行：浅山紀久子親睦委員長）

（会報担当より；親睦委員長は3種類の桜（牡丹桜、吉野桜、啓翁桜）を用意したとのこと。

牡丹桜と吉野桜の基本的な特徴は、WEBサイト「BOTANICA」の「牡丹桜とは？八重桜との関係や、ソメイヨシノとの違いなど、特徴をご紹介！」より抜粋整理。

啓翁桜はWEBサイト「AOYAMAHANAMO」の「日本の桜の品種はどれくらいある？種類や特徴、ルーツについて解説します」より抜粋整理。）

★牡丹桜（ボタンザクラ：花卉が一番大きい）



（特徴）牡丹桜は八重咲きの桜で、牡丹の花を思わせるため「牡丹桜」と呼ばれています。八重咲きの桜で「八重桜」と呼ばれている種類がありますが、牡丹桜と八重桜の違いは呼び名が違うだけで、種類としては同じです。正確に言えば、八重咲きの桜の品種の総称を八重桜と呼び、牡丹桜は八重桜の別名の1つとされています。

★吉野桜（ヨシノザクラ：花卉が中位の大きさ）



（特徴）吉野桜は山桜であって、ソメイヨシノとは異なります。ヨシノと名乗ったのは、「吉野」ブランドを利用した

からです。ほんとうの吉野桜とソメイヨシノの最大の違いは、一方が実生からのものであるのに対してソメイヨシノはすべて接木、挿し木によるクローン（栄養繁殖）だという点で、クローンによってどんどん複製できるので、日本中に普及しました。ソメイヨシノは単一に一気に咲きます。花の色も咲く時期もほとんど同じなのでソメイヨシノの桜並木は鮮やかです。しかし、自生する山桜はいっぺんには咲きません。一本の枝でも、満開の花の隣は、まだ蕾が堅かったりします。

昔から日本人に親しまれてきた山桜は、奈良の吉野山、京都の嵐山などが有名です。

★啓翁桜（ケイオウザクラ：花卉が一番小さい）



（特徴）桜の時期といえば染井吉野の開花する3月末を想像しますが、啓翁桜や河津桜をはじめ、3月よりも前に咲く桜はたくさんあります。

啓翁桜は久留米の吉永啓太郎翁により作出された栽培種。中国原産のミザクラ（実桜）を台木にしてカンヒザクラを継いだとされていますが、「ヒガンザクラ」を継いだという説もあり、はっきりしません。

◎近況報告：「吉野へ行ってきた」上野昭代元会員

近鉄の「青のシンフォニー」で阿倍野橋から吉野へ行ってきた。サロンのある豪華列車でした。行ったのは4月5日。下千本は5分咲き位で中千本や上千本は桜が咲いていなかったとのこと。



（画像引用元：近鉄「青のシンフォニー」公式サイト）

●吉野山

(地理院地図より作成)



(Wikipediaより) (吉野山に) 植えられている桜の種類は、ほとんどが白山桜(シロヤマザクラ)であり、その数は約3万本にも及ぶという。これらの桜は、4月初旬から末にかけて、山下の下千本から順に上千本へと開花してゆく。

下千本 (画像引用元: ニッポン旅マガジンより)



中千本 (同上)



上千本 (同上)



●吉野山に桜が多いのは? (Wikipediaより)

吉野山に桜が多いのは、桜が蔵王権現の**神木**であるとされたことによる。

修験道の開祖とされる役小角(えんのおずぬ)(役行者ともいう)は、金峰山(現在の大峰山系)で修行を積み、その結果、金剛蔵王菩薩(こんごうざおうぼさつ)が出現して、これを感じて蔵王権現像を彫ったとされる。その時に用いられた木材が桜樹であった。以降、行者達は桜材を使い権現を彫刻し、これを祀る習わしとなった。これより桜は神木となり、桜の枯れ木といえども薪にさえず、一枝を折る者は指一本を切るといったような厳しい信仰が厳守されたという。そのため蔵王権現に祈願する際には、**神木とされる桜の苗を寄進するのが最善の供養**となる風習が起こり、平安時代の頃から多くの桜が植えられるようになった。

また大海人皇子(のちの天武天皇)が、吉野の寒中で、庭の桜が満開の夢を見て、これが動機となって天下を定めたので、桜は霊木であり神木であるとされ、桜の愛護が始まったとも伝えられる。

●世界遺産「紀伊産地の霊場と参拝道」

(画像引用元: 吉野町公式ホームページより)



●霊場「吉野・大峰」(吉野町公式ホームページより)

平成16年7月に世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」のうち、霊場「吉野・大峰」は、役行者の開山以来、1300年の歴史を持つ修験道の聖地として信仰を集めてきた。大峰連山の北端から南へ8キロ程続く尾根が吉野山で、古来より日本一の桜の名所としても名高い。**吉野**は修験道の開祖である役行者ゆかりの地として重要視され、奈良・平安時代には金峯山寺に天皇や貴族が度々参詣し隆盛を極め、修験道の根本道場と呼ばれるようになった。

役行者が1300年前に開いた日本独自の宗教・修験道の精神性、文化性が今も受け継がれ生き続けていることが、吉野・大峰が世界遺産登録の中心的要素と言われる所以と言えます。

◎近況報告：「京都・善峰寺へ行ってきた」山村紗智子元会員

京都・善峰寺へ行ってきた。境内は3万坪。徳川綱吉の生母「桂昌院」お手植えの枝垂れ桜が見事でした。桂昌院は京都紫野の今宮神社に近い八百屋の娘に生まれました。その後綱吉の生母となり、「玉の輿」の語源と言われ、また「生類憐みの令」にも関わっているとのこと。

●善峰寺（よしみねでら）の位置



(地理院地図より作成)

●善峰寺の歴史 (Wikipediaより抜粋)

寺に伝わる『善峰寺縁起絵巻』(江戸時代)等によれば、長元2年(1029年)源算が自作の千手観音像を本尊として創建したという。

鎌倉時代初期、後鳥羽天皇直筆の寺額を賜ったことにより寺号が善峰寺と改められた。

青蓮院から多くの法親王が入山したため「西山門跡」と呼ばれ、室町時代には僧坊の数は52を数えていた。だが、応仁の乱に巻き込まれて伽藍の大半が焼失した。

江戸時代になってから江戸幕府第5代将軍徳川綱吉の生母・桂昌院が大檀那となって、現存する観音堂・鐘楼・護摩堂などが再建されて復興を遂げた。

また、当寺には、全長37m樹齢600年以上の「遊龍の松」(国指定天然記念物)、樹齢300年以上の「桂昌院お手植えの枝垂れ桜」などがある。

●桂昌院お手植えの枝垂れ桜



(画像引用元：京都・西山・西国第二十番札所善峰寺の四季)

●「玉の輿」

(会報担当より：この記事はWEBサイト「TMオフィス」の「それでも玉の輿に乗る？家光に見初められた“八百屋の娘”の生涯」より抜粋)

京都市北区紫野今宮神社。お玉さん(のちの桂昌院)が近くの八百屋で生まれたことや大出世した桂昌院が今宮神社を復興したことから「玉の輿神社」と呼ばれるようになりました。



(Google Mapより作成)

- ・お玉さんの出生について最も知られているのは京都西陣の八百屋の娘だったという説です。
- ・八百屋を営んでいた父が亡くなり、お玉さんは父が野菜を納めていた下級武士・本庄家の養女になります。
- ・本庄家の養女となったお玉さんは、公家出身の尼僧の侍女として奉公することになります。お玉さんが奉公することになったこの尼僧こそ、後に将軍・家光の側室・お万の方になる人だったのです。
- ・尼僧が住職を務める寺は伊勢にある慶光院という格式の高い寺院で、公家の姫が剃髪して修行し、住職になる決まりがありました。寛永16年(1639年)、尼僧は將軍家に挨拶をするために、江戸城の將軍・徳川家光を訪ねることになりました。当然、お玉もお供をして江戸城に向かいました。
- ・ここで、將軍・家光が尼僧に一目ぼれをしてしまったのです。尼僧はそのまま家光の側室「お万の方」として大奥に入り、その後お万の方は、「春日局」の後の大奥を仕切る女傑になったとはよく知られています。
- ・さらに、お玉さんも成人すると家光に見初められ、側室になります。そしてお玉さんは家光の子を産みます。しかも運よく男子。後の5代將軍・綱吉です。
- ・ただ当初は、綱吉の上に2人の男の子がいたため、將軍を継ぐ可能性はほとんどありませんでした。そんな中で家光が亡くなり、四代將軍は予定どおり嫡男の家綱になり、側室のお玉さんは出家して「桂昌院」になります。
- ・その後、突然四代將軍・家綱が亡くなったのです。家綱には子どもがなく、家光の二男もすでに他界。お玉の子・綱吉しか將軍を継ぐ男子がいなかったのです。
- ・こうして五代將軍・綱吉が誕生し、八百屋の娘だったお玉さんはなんと將軍の生母になりました。

お玉さんほど運の強い女性はちょっと見当たりません。
お玉さんが「玉の輿」の語源になったのも頷けます。

次回 第371回 通常例会 2022年6月13日(月)
会場：ホテルモントレ大阪 12:00~14:00